

八重瀬町地域福祉(活動)計画を策定します!!

皆様が地域で暮らしていく上での課題や地域での福祉活動に関するお考えや要望・意見などの把握を目的に、無作為抽出にて、1,000名の方々へ町民実態調査を実施します。ご協力よろしくお願いたします。



地域福祉とは？



福島副町長より策定委員委嘱状交付

私たちが住む地域には、何らかの手助けや支援を必要としている人たちも多く住んでいます。また、家庭や地域の力、人と人とのつながりが徐々に希薄になるなかで、対人的な不安やストレスを感じたり社会的に孤立するといった問題も生じつつあります。「地域福祉」とは、こうした生活上のさまざまな課題について、自分たちが住んでいる地域という場所を中心に考え、だれもが安心して自立した生活を送ることができるよう、ともに支えあい助けあいながら、暮らしやすいまちづくりを進めていこうとする取組みのことをいいます。

八重瀬町地域福祉(活動)計画を策定するのは、住民の自主的な活動と公的なサービスを中心に、福祉サービスを必要とする人をみんなで支えあっていくことが必要と考えたからです。八重瀬町では、幅広い町民の主体的な参加と町民、事業者(社会福祉を目的とする事業を営む者)、行政の協働のもとに、自助、共助、公助が相まって、いきいきとして安心して暮らせる、人と人との支え合う福祉コミュニティを実現することを目的に、八重瀬町地域福祉(活動)計画」を策定します。

第1回の八重瀬町地域福祉計画策定委員会が11月29日(火)に八重瀬町役場にて開催され、委員11名が八重瀬町と八重瀬町社協から委嘱され、委員長に神里博武氏(学識経験者)、副委員長に伊集守晃氏(福祉関係者)が選出されました。